

2023年度 連結決算概要
2024年度 連結業績予想

説明資料

2024年5月13日（月）

2023年度 連結決算概要

連結対象会社

項目	2022年度末 (A)	2023年度末 (B)	増減 (B) - (A)	摘要
連結 子会社数	36社	36社	0社	+ UBE C1 CHEMICALS AMERICA, INC. - 株式会社UBE科学分析センター
持分法 適用会社数	15社	16社	1社	+ 株式会社UBE科学分析センター
計	51社	52社	1社	

環境要因

項目			2022年度 (A)	2023年度 (B)	差異 (B) - (A)	
為替レート		円/\$	135.5	144.6	9.1	
資材価格	ナフサ	CIF	\$/ t	793	671	△ 122
		国産	円/KL	76,400	69,000	△ 7,400
	ベンゼン (ACP)		\$/ t	1,038	939	△ 99
	豪州炭 (CIF)		\$/ t	393.8	194.8	△ 199.1
			円/t	53,337	28,165	△ 25,172

主要項目

(単位：億円)

項目	2022年度 (A)	2023年度 (B)	差異 (B) - (A)	増減率
売上高	4,947	4,682	△ 265	△ 5.4%
営業利益	162	225	62	38.5%
経常利益	△ 87	363	451	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 70	290	360	—

(注) 2023年度において、医薬品受託製造会社の企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行いました。
2022年度に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

セグメント別 売上高/営業利益

(単位：億円)

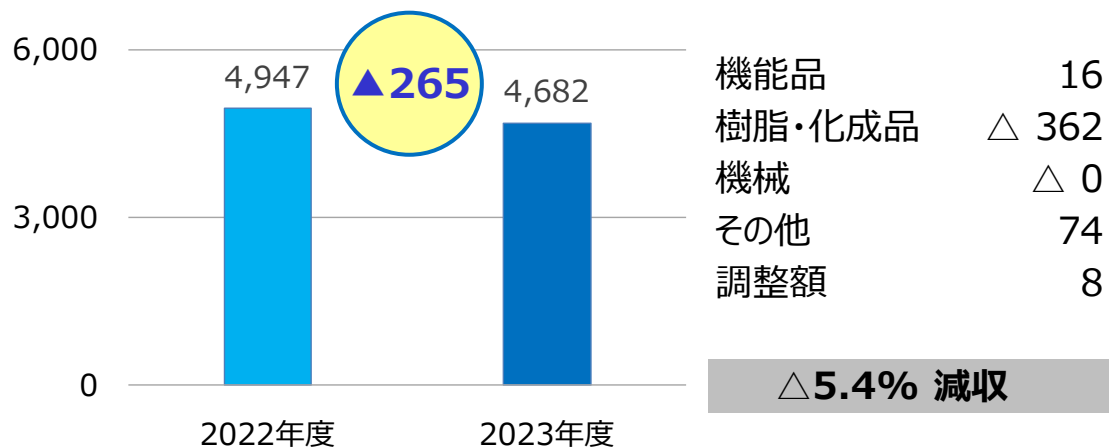
	セグメント	2022年度	2023年度	差異	増減率
		(A)	(B)	(B) - (A)	
売上高	機能品	622	638	16	2.6%
	樹脂・化成品	2,934	2,572	△ 362	△ 12.3%
	機械	969	969	△ 0	△ 0.0%
	その他	731	805	74	10.1%
	調整額	△ 308	△ 301	8	-
	計	4,947	4,682	△ 265	△ 5.4%
営業利益	機能品	102	121	19	18.2%
	樹脂・化成品	26	24	△ 2	△ 6.4%
	機械	52	72	19	36.9%
	その他	26	45	20	75.2%
	調整額	△ 45	△ 38	7	-
	計	162	225	62	38.5%

(注) 2023年度において、医薬品受託製造会社の企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行いました。
2022年度に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

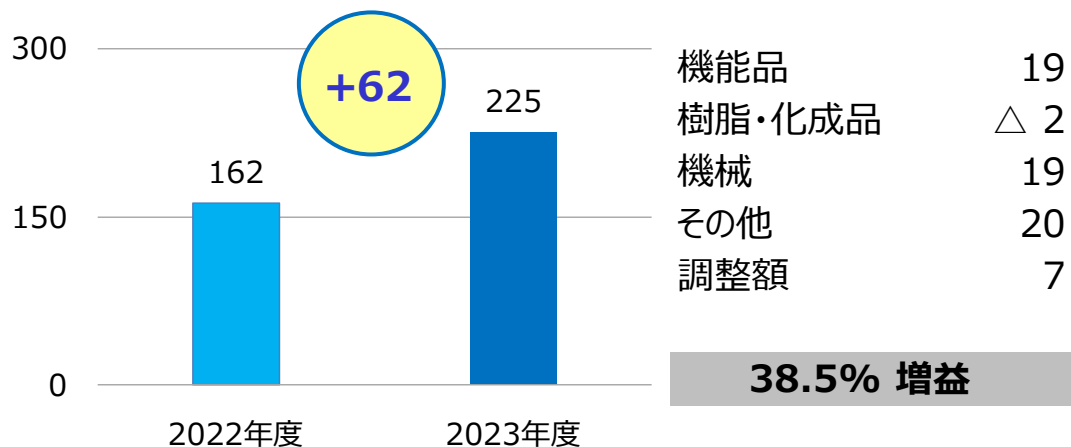
差異分析 全社

(単位：億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高：減収

- 樹脂・化成品：ナイロンポリマー、カプロラクタム等の販売が低調
- その他：エーピーアイコーポレーション社を連結子会社化

営業利益：増益

- 機能品：分離膜の販売が好調
- 機械：アフターサービスが堅調
- その他：医薬のロイヤリティ収入が増加

営業利益差異

価格差 ※1	36
数量差	△ 35
固定費ほか ※2	62
計	62

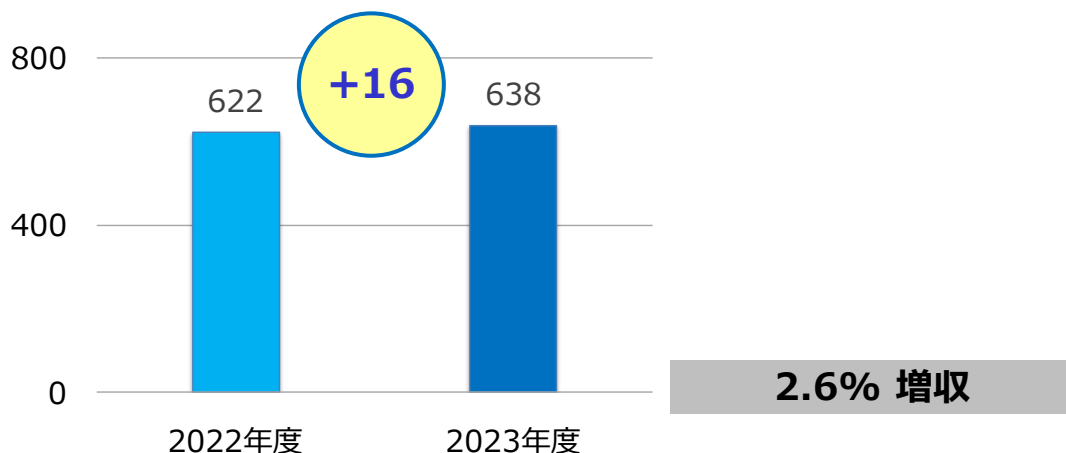
※1：資材単価差含む

※2：在庫評価差、低価法影響含む

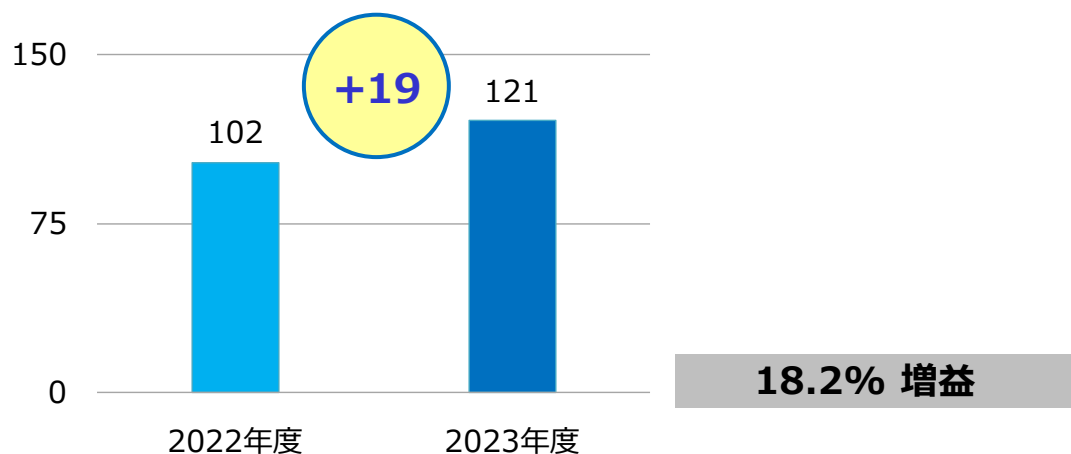
差異分析 機能品

(単位：億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高：増収

- ポリイミド：大型ディスプレイやスマートフォンの需要が低調
- 分離膜：バイオメタン製造向け脱炭酸膜の需要が好調
- セラミックス：電動車向けの軸受や基板用途の需要が好調
- セパレータ：上期の需要が低調であったが、自動車生産の回復に伴い下期は堅調

営業利益：増益

- 分離膜、セラミックスの販売が好調

営業利益差異

価格差 ※1	33
数量差	△ 10
固定費ほか ※2	△ 4
計	19

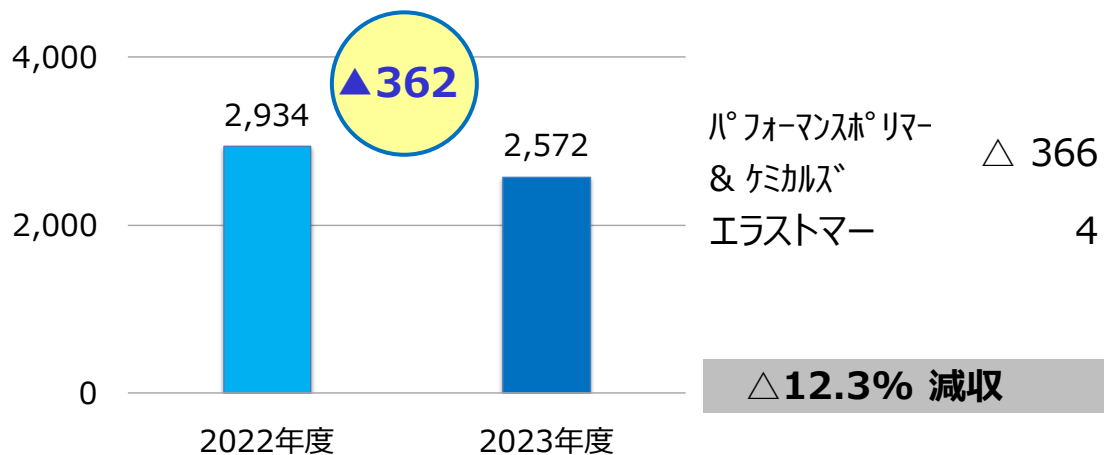
※1：資材単価差含む

※2：在庫評価差、低価法影響含む

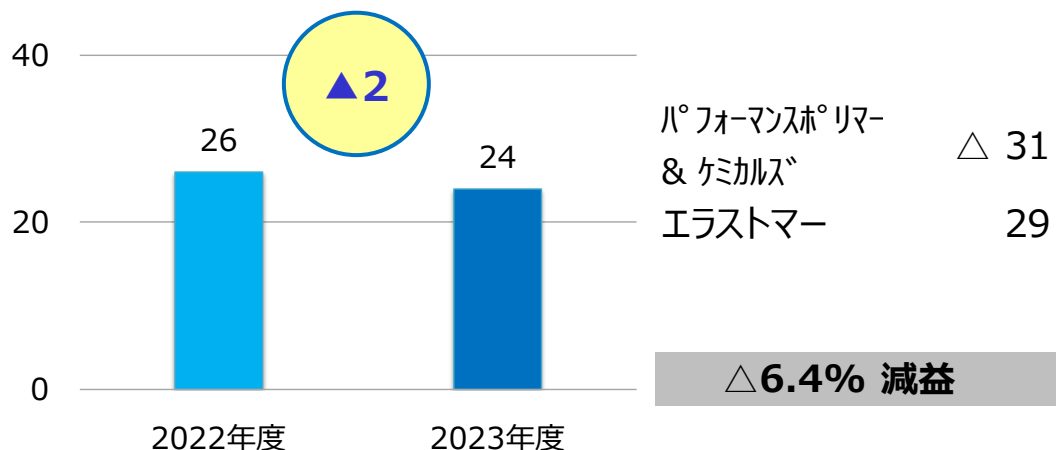
差異分析 樹脂・化成品

(単位：億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高：減収

- ・ ナイロンポリマー : 食品包装フィルム用途の需要が総じて低調
- ・ ラクタム・硫安 : 需要減退により販売数量が減少、原料市況の下落等により販売価格も低下
- ・ 工業薬品 : アンモニアの国内需要が低迷、国際市況下落に伴い販売価格も低下
- ・ ファインケミカル : 競争激化により製品市況が下落し、販売数量も減少

営業利益：減益

- ・ ファインケミカルや工業薬品の販売が低調

営業利益差異

価格差 ※1 △ 9

数量差 △ 20

固定費ほか ※2 28

計 △ 2

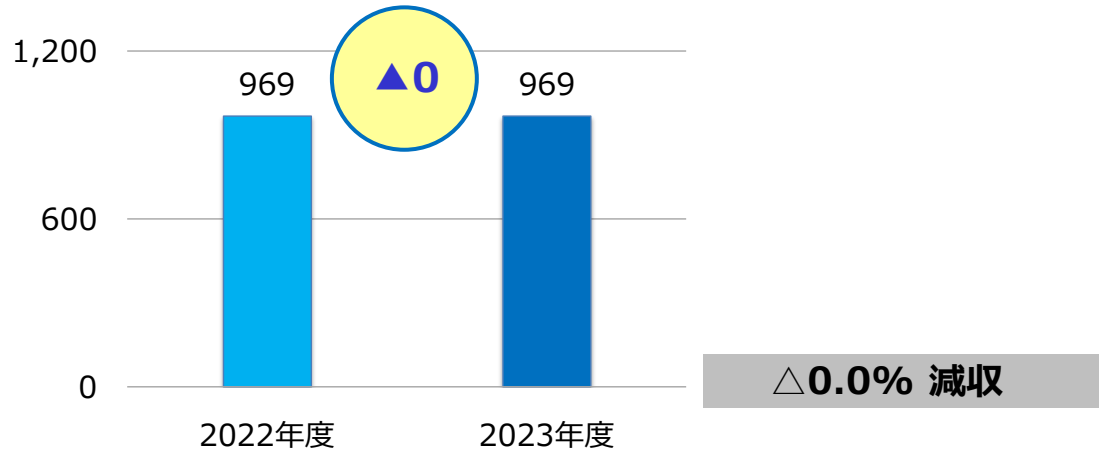
※1：資材単価差含む

※2：在庫評価差、低価法影響含む

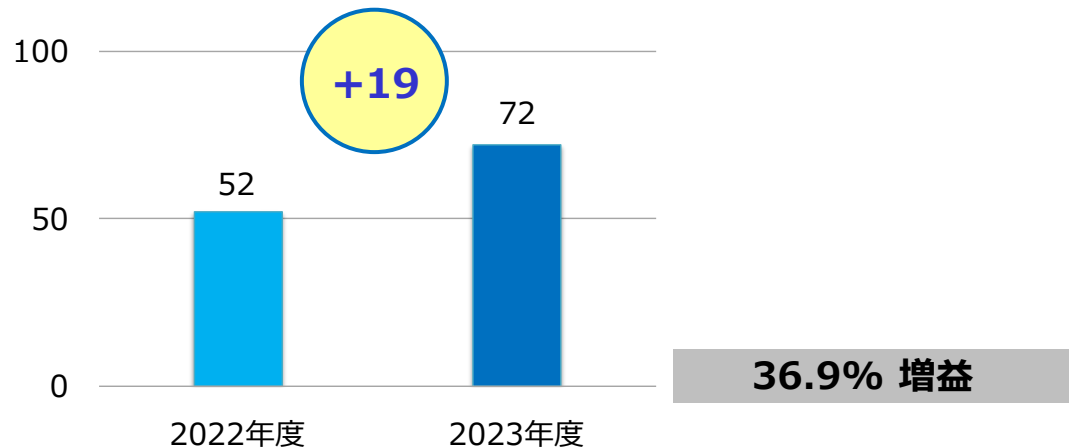
差異分析 機械

(単位：億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高：減収

- 成形機 : 上期に自動車産業の設備投資が低迷した影響を受けるも下期に回復、アフターサービスは堅調
- 産機 : 製品の販売が増加、アフターサービスも堅調
- 製鋼 : 需要減退により販売数量が減少

営業利益：増益

- 成形機、産機のアフターサービスが堅調
- 製鋼における原燃料価格の下落

営業利益差異

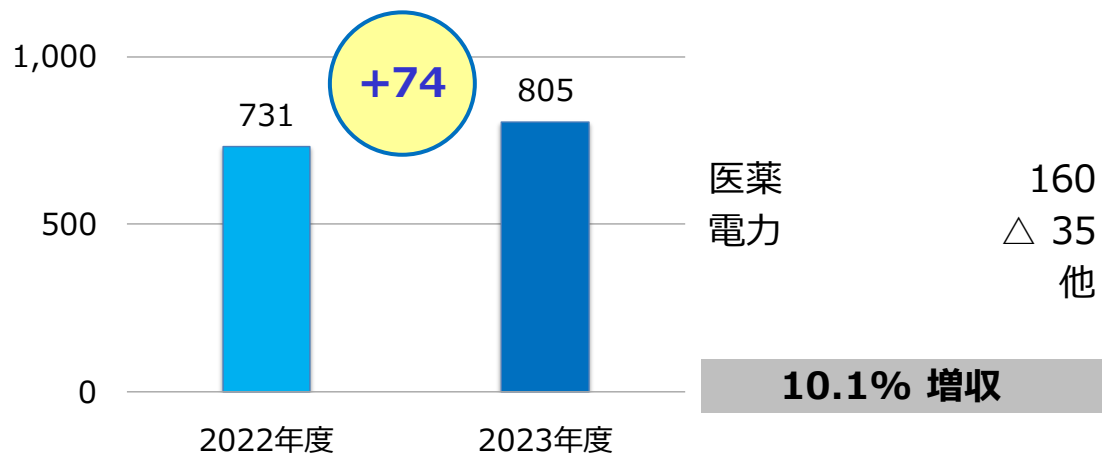
機械部門限界利益 27

(機械製品は個別受注生産品のため、価格差・数量差の差異分析を行っていない)

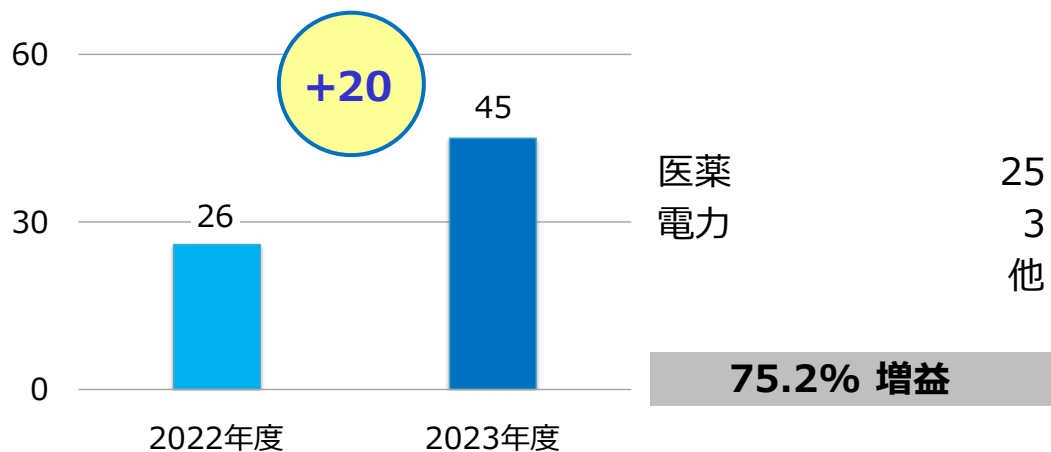
差異分析 その他

(単位：億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高：増収

- ・ 医薬 : エーピーアイコーポレーション社を連結子会社化、自社医薬品および受託医薬品の販売が堅調
- ・ 電力 : 石炭価格下落に伴い売電価格が下落

営業利益：増益

- ・ 医薬事業のロイヤリティ収入が増加

営業利益差異

価格差 ※1	5
数量差	△ 4
固定費ほか ※2	19
計	20

※1：資材単価差含む

※2：在庫評価差含む

営業利益～当期純利益

(単位：億円)

項目	2022年度 (A)	2023年度 (B)	差異 (B) - (A)
営業利益	162	225	62
営業外損益	△ 250	139	388
金融収支	7	29	23
持分法による投資損益	△ 231	123	355
うちUBE三菱セメント(株)に係る持分法投資損益	△ 246	130	377
為替差損益	5	15	10
その他	△ 30	△ 29	1
経常利益	△ 87	363	451
特別損益	61	△ 13	△ 74
税金等調整前当期純利益	△ 27	351	377
法人税等・非支配株主利益	△ 44	△ 61	△ 17
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 70	290	360
1株当たり当期純利益	△ 72.54円	298.59円	371.13円

(注) 2023年度において、医薬品受託製造会社の企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行いました。
2022年度に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

貸借対照表

(単位：億円)

項目		2022年度末 (A)	2023年度末 (B)	差異 (B) - (A)
資産	流動資産	2,831	2,957	126
	固定資産	4,494	4,932	438
	合計	7,327	7,890	564
負債	有利子負債	2,181	2,134	△ 47
	その他負債	1,329	1,462	133
	計	3,511	3,597	86
純資産	自己資本 *1	3,616	4,087	471
	非支配株主持分他	200	207	6
	計	3,816	4,294	477
負債・純資産合計		7,327	7,890	564

*1:「自己資本」…純資産から新株予約権と非支配株主持分を除外したもの

(注) 2023年度において、医薬品受託製造会社の企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行いました。
2022年度末に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

項目	2022年度	2023年度	
A.営業活動によるCF	181	530	税金等調整前当期純利益 351 減価償却費 266 運転資金の増減 △92 他
B.投資活動によるCF	△ 260	△ 333	有形・無形固定資産の取得 △310 短期貸付金の増減 △27 他
フリー・キャッシュ・フロー (A+B)	△ 79	196	
C.財務活動によるCF	24	△ 157	有利子負債の増減 △61 配当金の支払 △96 他
D.現金及び現金同等物の増減 (含、換算差額等)	△ 481	52	
E.現金及び現金同等物の当期末残高	307	359	

2024年度 連結業績予想

連結対象会社

項目	2023年度末 (A)	2024年度末 (B)	増減 (B) - (A)	摘要
連結 子会社数	36社	34社	△2社	<ul style="list-style-type: none"> - 株式会社エーピーアイコーポレーション - 宇部愛科喜模高新材料(無錫)有限公司
持分法 適用会社数	16社	15社	△1社	<ul style="list-style-type: none"> - 株式会社ユービーイーホテルズ
計	52社	49社	△3社	

環境要因

項目			2023年度 (A)	2024年度 (B)	差異 (B) - (A)	
為替レート		円/\$	144.6	150.0	5.4	
資材 価格	ナフサ	CIF	\$/ t	671	700	29
		国産	円/KL	69,000	70,100	1,100
	ベンゼン (ACP)		\$/ t	939	905	△ 34
	豪州炭 (CIF)		\$/ t	194.8	168.0	△ 26.8
			円/t	28,165	25,200	△ 2,965

主要項目

(単位：億円)

項目	2023年度 (A)	2024年度 (B)	差異 (B) - (A)	増減率
売上高	4,682	5,100	418	8.9%
営業利益	225	270	45	20.2%
経常利益	363	370	7	1.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	290	295	5	1.8%

項目	2023年度末 (A)	2024年度末 (B)	差異 (B) - (A)
総資産	7,890	8,500	610
有利子負債	2,134	2,690	556
自己資本 *1	4,087	4,240	153
年間配当金 (円/株)	*2 105.00	*3 110.00	5.00

*1: 「自己資本」…純資産から新株予約権と非支配株主持分を除外したもの

*2: 105.00円 (中間配当金50.00円、期末配当金55.00円)

*3: 110.00円 (中間配当金55.00円、期末配当金55.00円)

セグメント別 売上高/営業利益

(単位：億円)

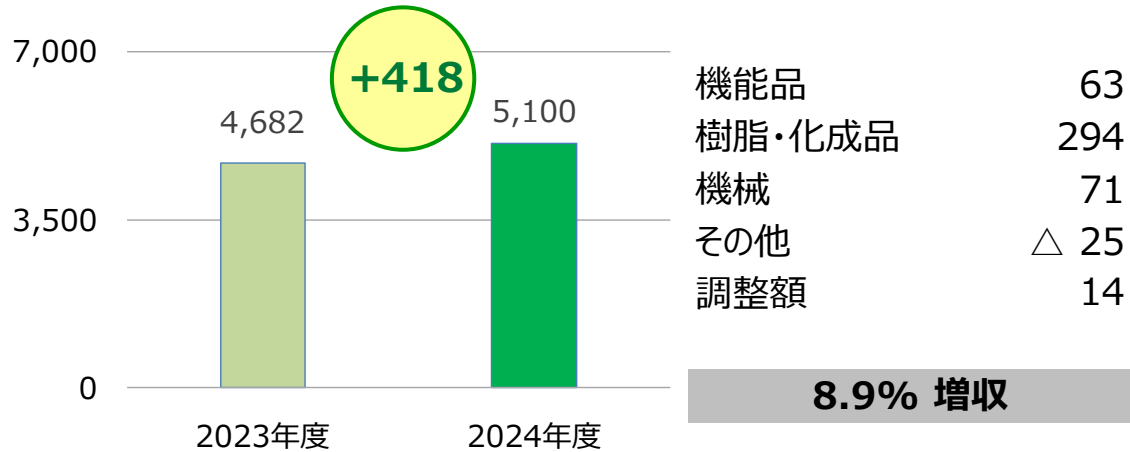
	セグメント	2023年度	2024年度	差異	増減率
		(A)	(B)	(B) - (A)	
売上高	機能品	638	700	63	9.8%
	樹脂・化成品	2,586	2,880	294	11.4%
	機械	969	1,040	71	7.3%
	その他	745	720	△ 25	△ 3.3%
	調整額	△ 254	△ 240	14	—
	計	4,682	5,100	418	8.9%
営業利益	機能品	121	125	4	3.2%
	樹脂・化成品	25	95	70	273.9%
	機械	72	70	△ 2	△ 2.3%
	その他	45	20	△ 25	△ 55.2%
	調整額	△ 38	△ 40	△ 2	—
	計	225	270	45	20.2%

(注) 2024年度より、UBE America inc. 及び UBE CORPORATION AMERICA INC. を「その他」から「樹脂・化成品」へセグメント変更しました。
2023年度の各数値は新しいセグメントに組み替えた場合の参考値です。

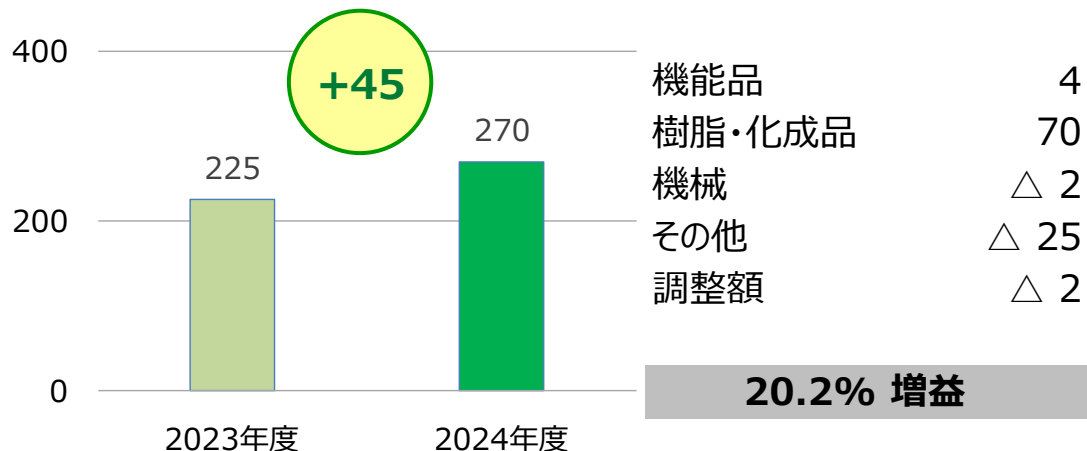
差異分析 全社

(単位：億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高：増収

- 機能品 : 分離膜、セパレータ等の販売が増加
- 樹脂・化成品 : ナイロンポリマー、コンポジット等の販売が増加
- 機械 : 成形機の販売が増加

営業利益：増益

- 樹脂・化成品 : 全般的に販売が増加

営業利益差異

価格差 ※1	34
数量差	93
固定費ほか ※2	△ 81
計	45

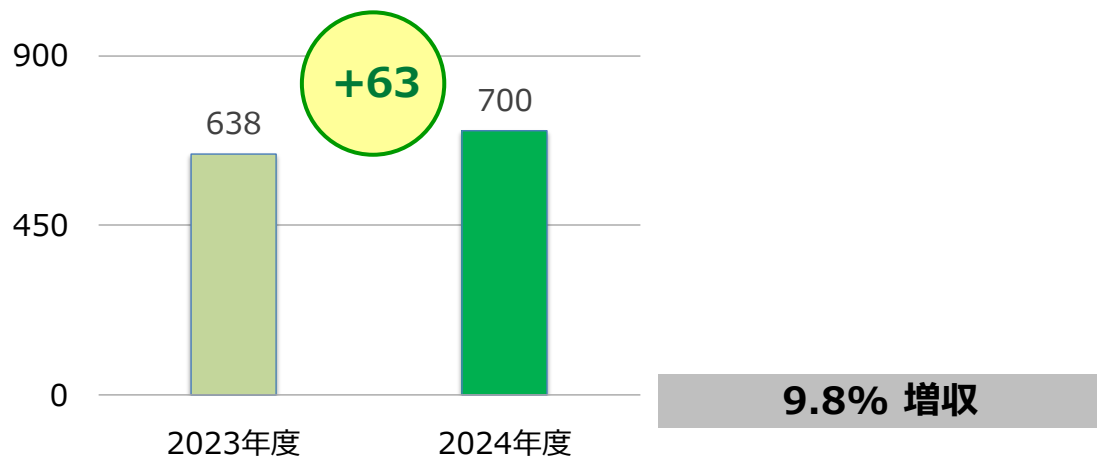
※1：資材単価差含む

※2：在庫評価差、低価法影響含む

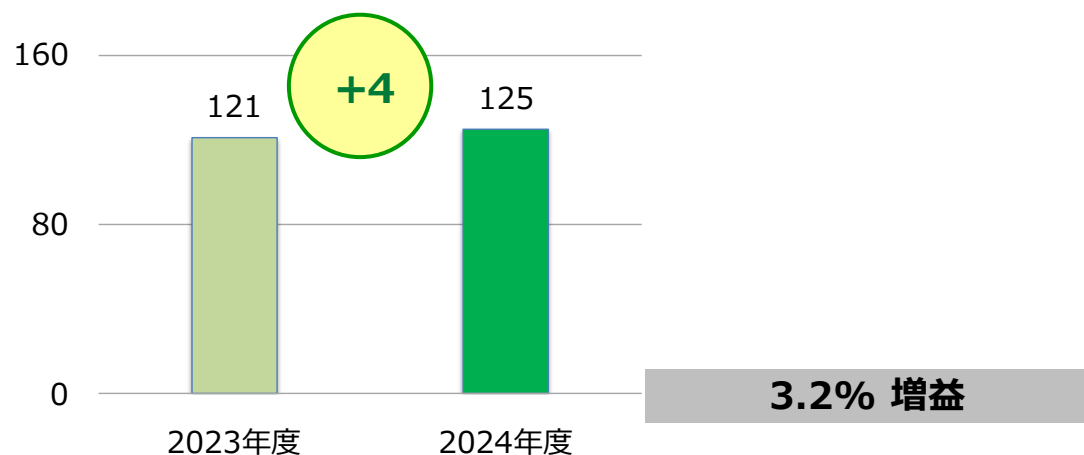
差異分析 機能品

(単位：億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高：増収

- ・ 分離膜 : バイオメタン製造向け脱炭酸膜を中心に販売が増加
- ・ セパレータ : 自動車生産の回復に伴い販売が増加

営業利益：増益

- ・ 分離膜、セラミックス、セパレータ等の販売が増加

営業利益差異

価格差 ※1 △ 3

数量差 31

固定費ほか ※2 △ 24

計 4

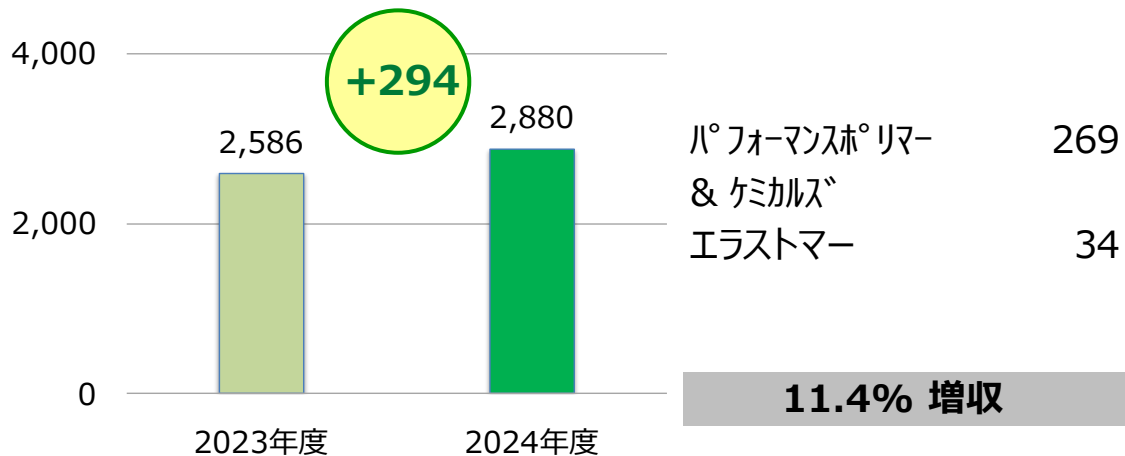
※1：資材単価差含む

※2：在庫評価差、低価法影響含む

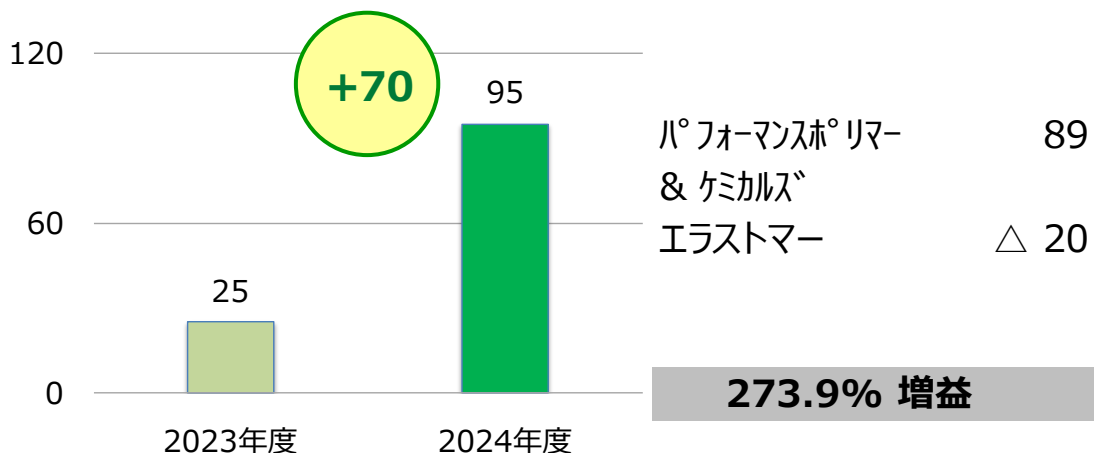
差異分析 樹脂・化成品

(単位：億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高：増収

- ・ ナイロンポリマー：食品包装用フィルム等の需要が回復
- ・ コンポジット：自動車生産の回復に伴い販売が増加

営業利益：増益

- ・ 全般的に販売が増加
- ・ C1ケミカルのライセンス収入が増加

営業利益差異

価格差 ※1	23
数量差	61
固定費ほか ※2	△ 14
計	70

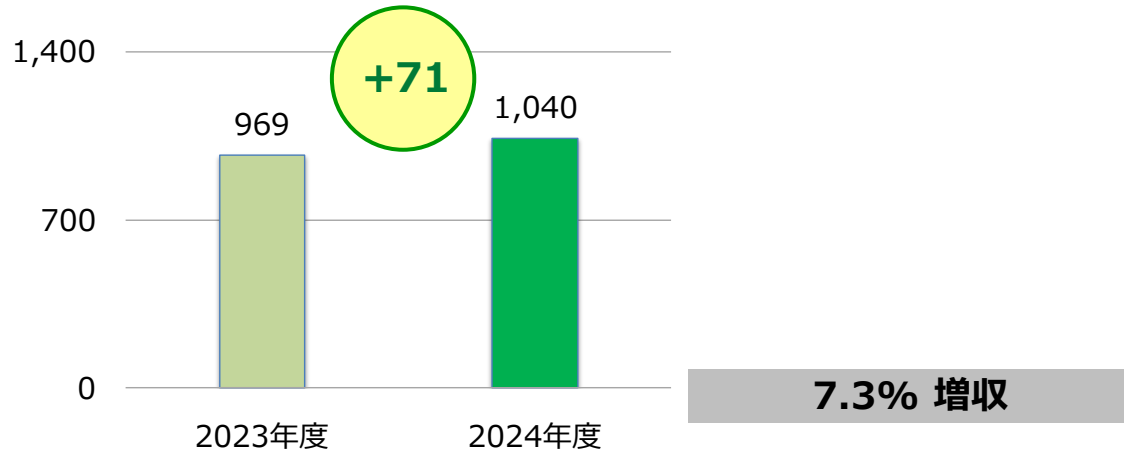
※1：資材単価差含む

※2：在庫評価差、低価法影響含む

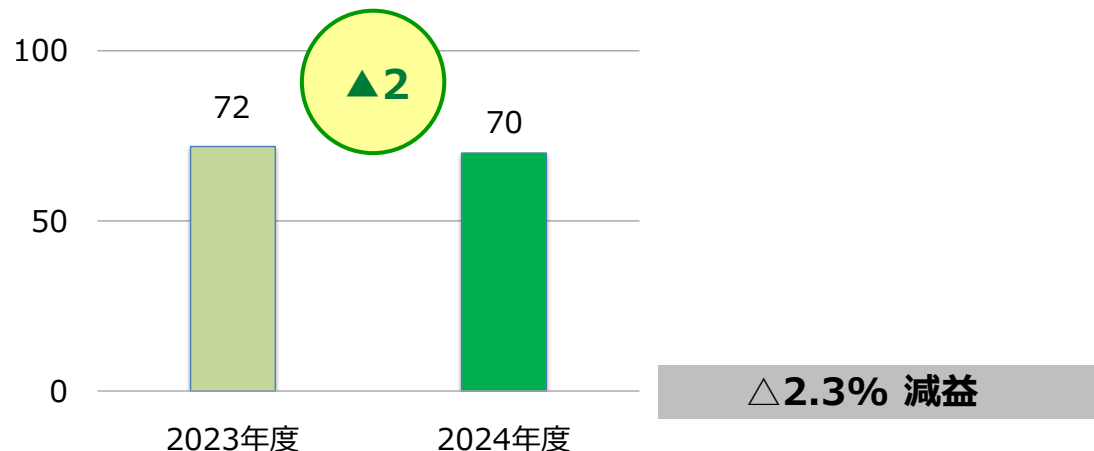
差異分析 機械

(単位：億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高：増収

- 成形機 : 自動車産業向けの販売が増加

営業利益：減益

- 成形機の販売が増加する一方、産機の販売が減少

営業利益差異

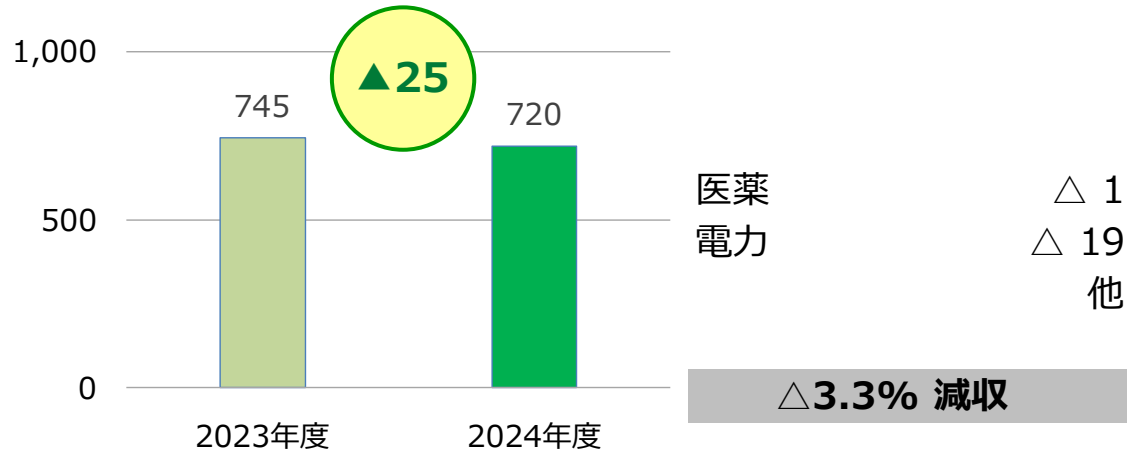
機械部門限界利益 11

(機械製品は個別受注生産品のため、価格差・数量差の差異分析を行っていない)

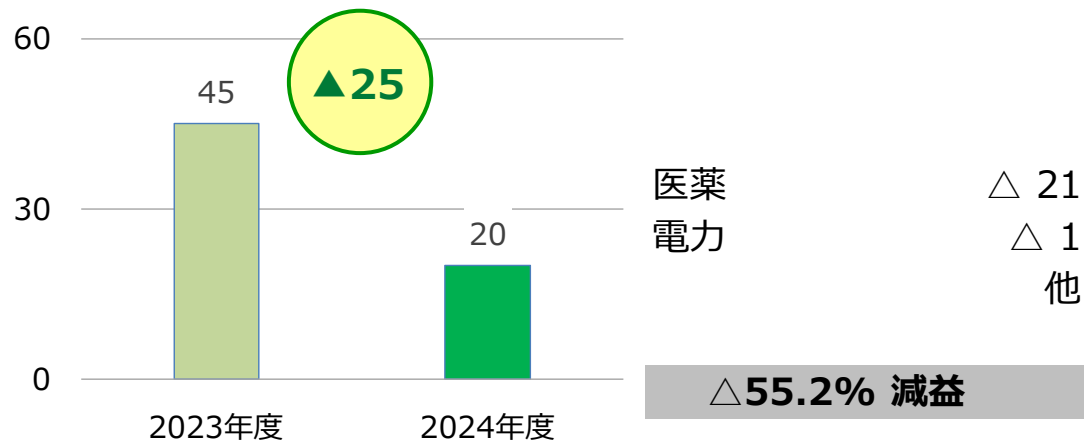
差異分析 その他

(単位：億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高：減収

- 電力：石炭価格下落に伴い売電価格が下落

営業利益：減益

- 医薬におけるロイヤリティ収入の減少

営業利益差異

価格差 ※1 12

数量差 1

固定費ほか ※2 △ 38

計 △ 25

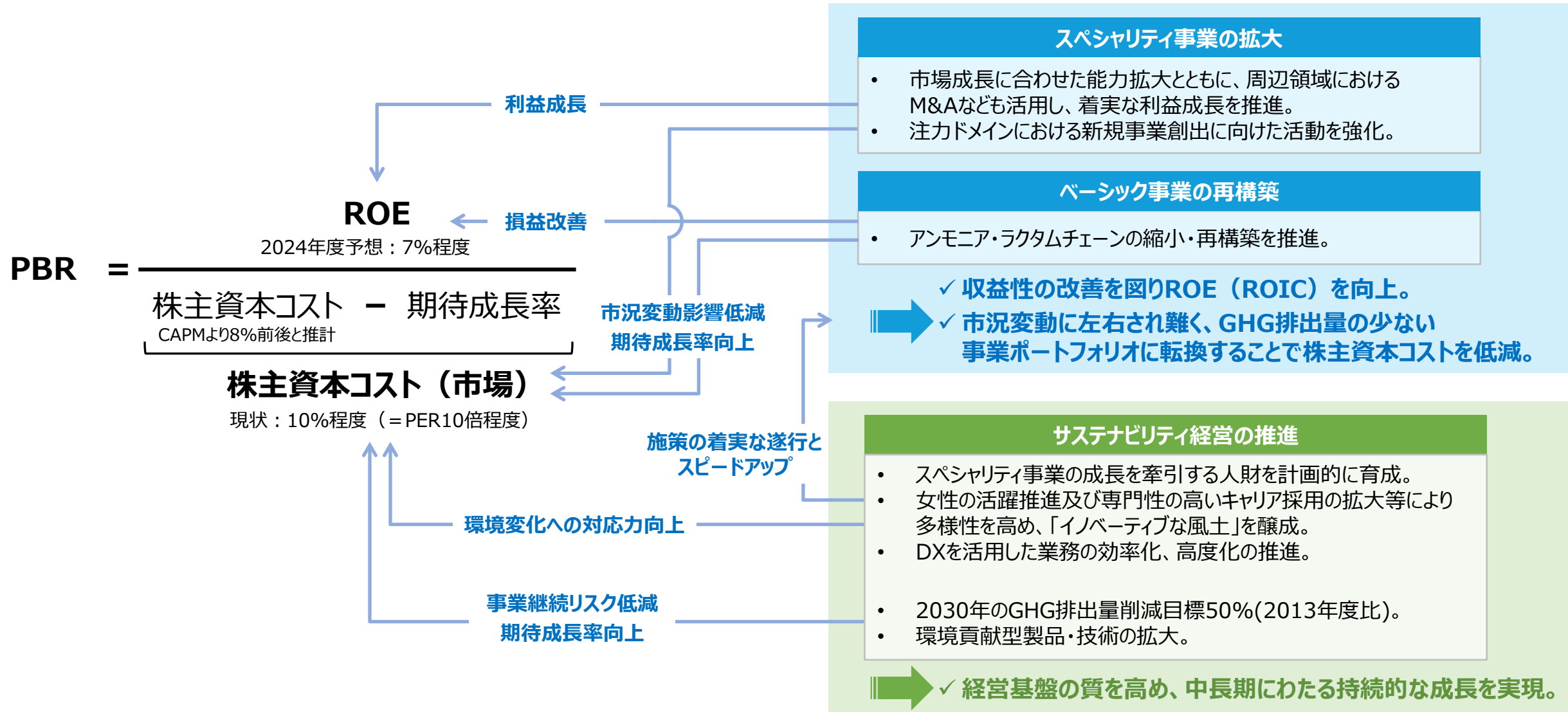
※1：資材単価差含む

※2：在庫評価差含む

営業利益～当期純利益

(単位：億円)

項目	2023年度 (A)	2024年度 (B)	差異 (B) - (A)
営業利益	225	270	45
営業外損益	139	100	△ 39
うちUBE三菱セメント(株)に係る持分法投資損益	130	110	△ 20
経常利益	363	370	7
特別損益	△ 13	10	23
税金等調整前当期純利益	351	380	29
法人税等・非支配株主利益	△ 61	△ 85	△ 24
親会社株主に帰属する当期純利益	290	295	5
1株当たり当期純利益	298.59円	303.89円	5.30円



參考資料

売上高 四半期業績推移

(単位：億円)

セグメント	2023年度				累計
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
機能品	158	155	155	170	638
樹脂・化成品	603	598	636	734	2,572
機械	206	221	230	312	969
その他	189	190	203	222	805
調整額	△ 64	△ 76	△ 75	△ 86	△ 301
計	1,092	1,089	1,149	1,353	4,682

営業利益 四半期業績推移

(単位：億円)

セグメント	2023年度				累計
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
機能品	30	26	27	38	121
樹脂・化成品	△ 16	△ 8	18	30	24
機械	9	13	22	28	72
その他	9	5	11	20	45
調整額	△ 6	△ 10	△ 8	△ 14	△ 38
計	26	26	71	101	225

売上高 四半期比較

(単位：億円)

セグメント	2023年度 第3四半期 (A)	2023年度 第4四半期 (B)	差異 (B) - (A)	差異要因
機能品	155	170	15	
樹脂・化成品	636	734	99	パフォーマンスポリマー&ケミカルズ 78 エラストマー 20
機械	230	312	83	
その他	203	222	19	医薬 4 電力 5 他
調整額	△ 75	△ 86	△ 11	
計	1,149	1,353	204	

営業利益 四半期比較

(単位：億円)

セグメント	2023年度 第3四半期 (A)	2023年度 第4四半期 (B)	差異 (B) - (A)	差異要因
機能品	27	38	11	
樹脂・化成品	18	30	12	パフォーマンスポリマー&ケミカルズ 19 エラストマー △ 7
機械	22	28	6	
その他	11	20	8	医薬 4 電力 3 他
調整額	△ 8	△ 14	△ 7	
計	71	101	31	

ポートフォリオ別 売上高/営業利益

(単位：億円)

	ポートフォリオ	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 予想
売上高	スペシャリティ事業	1,382	1,529	1,725
	ベーシック事業	2,369	2,010	2,175
	機械事業	969	969	1,040
	その他（調整額を含む）	228	174	160
	計	4,947	4,682	5,100
営業利益	スペシャリティ事業	183	186	240
	ベーシック事業	△ 34	1	10
	機械事業	52	72	70
	その他（調整額を含む）	△ 40	△ 34	△ 50
	計	162	225	270

UBE三菱セメント

■ UBE三菱セメント(株) 連結損益計算書

(単位：億円)

項目	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 予想
売上高	5,763	5,853	6,050
うち海外事業	1,401	1,781	1,950
営業利益	△284	457	430
うち海外事業	80	307	280
経常利益	△258	477	420
親会社株主に帰属する 当期純利益	△473	246	210

■ UBE(株) 持分法投資損益

持分法による投資利益(損失)	△246	130	110
----------------	------	-----	-----

・ 国内事業：

2023年度は、セメント事業で5,000円/t値上げの完遂や安価熱エネルギーの使用拡大等の改善効果があり、黒字を達成した。

2024年度は、セメント事業で物流費や資材価格の上昇、環境エネルギー事業で電力販売減少等の減益要因はあるが、セメント値上効果の年間を通じた寄与と安価熱エネルギーの更なる使用拡大により、国内事業全体では2023年度並みの営業利益を見込む。

・ 海外事業：

2023年度は、主に米国生コン事業での値上げの早期の浸透等の効果により、対前年で大幅な増益となった。

2024年度は、米国セメント・生コン事業では、資材価格や人件費等が上昇しコストアップとなるが、南カリフォルニア地区の需要回復による販売数量増や更なる値上げにより前年度並みの営業利益を見込む。一方で、豪州石炭事業では減益を見込んでおり、海外事業全体の営業利益は2023年度と比較して減益を見込む。

■ UBE三菱セメント(株) 定量情報

項目	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 予想
セメント(国内総需要) (万t)	3,724	3,458	3,500
セメント(国内) 販売数量 (万t)	909	820	850
セメント(米国) 販売数量 (万st)	163	173	179
生コン(米国) 販売数量 (万cy)	674	674	704
一般炭価格(参考指標) (\$/t)	356	142	180
ドル為替レート (円/ドル)	135	144	145

※ 上記一般炭価格は参考指標であり、実際の調達価格とは異なる。

(参考) 2024年3月末 連結貸借対照表

(単位：億円)

総資産	8,129	有利子負債	1,807	自己資本	3,649
自己資本比率	44.9%	D/Eレシオ	0.49倍		

連結主要指標

(単位：億円)

項目	2022年度	2023年度	2024年度 <予想>
設備投資	293	361	810
減価償却費	255	266	270
研究開発費	104	103	100
事業利益	△ 55	388	397
有利子負債残高	2,181	2,134	2,690
自己資本	3,616	4,087	4,240
総資産	7,327	7,890	8,500
D/Eレシオ (倍)	0.60	0.52	0.63
自己資本比率(%)	49.4	51.8	49.9
売上高営業利益率(%)	3.3	4.8	5.3
総資産事業利益率(%)	△ 0.7	5.1	4.8
自己資本利益率(%)	△ 1.9	7.5	7.1
投下資本利益率(%)	△ 2.0	4.7	4.8

(注) 2023年度において、医薬品受託製造会社の企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行いました。
2022年度に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

主要連結子会社

(単位：億円)

会社名	事業内容	売上高	営業利益
		2023年度	対2022年度
UBE CORPORATION EUROPE S.A.U.	コンポジット、ナイロンポリマー、カプロラクタム、硫安、ファインケミカル、高機能コーティング、その他製品の製造・販売	570	↑
UBE Chemicals (Asia) Public Company Limited	コンポジット、ナイロンポリマー、カプロラクタム、硫安の製造・販売	430	↑
THAI SYNTHETIC RUBBERS COMPANY LIMITED	ポリブタジエン（合成ゴム）の製造・販売	205	↑
宇部フィルム株式会社	プラスチックフィルム製品の製造・販売	111	↑
宇部エクシモ株式会社	ポリプロピレンの成形品、繊維、FRP製品、電子・情報材料の製造・販売	117	↓
UBE マシナリー株式会社	成形機、産業機械、橋梁等の製造・販売	540	↑
株式会社宇部スチール	圧延用鋼塊ビレット、鋳鋼品・鋳鉄品の製造・販売	278	↑

(注) ↑ ↓ は 1 億円以上の増減を示す

セグメント別 上期・下期 内訳

(単位：億円)

セグメント	売上高			営業利益		
	上期	下期	計	上期	下期	計
機能品	330	370	700	55	70	125
樹脂・化成品	1,405	1,475	2,880	10	85	95
機械	425	615	1,040	15	55	70
その他	340	380	720	10	10	20
調整額	△ 120	△ 120	△ 240	△ 15	△ 25	△ 40
計	2,380	2,720	5,100	75	195	270

設備投資主要案件

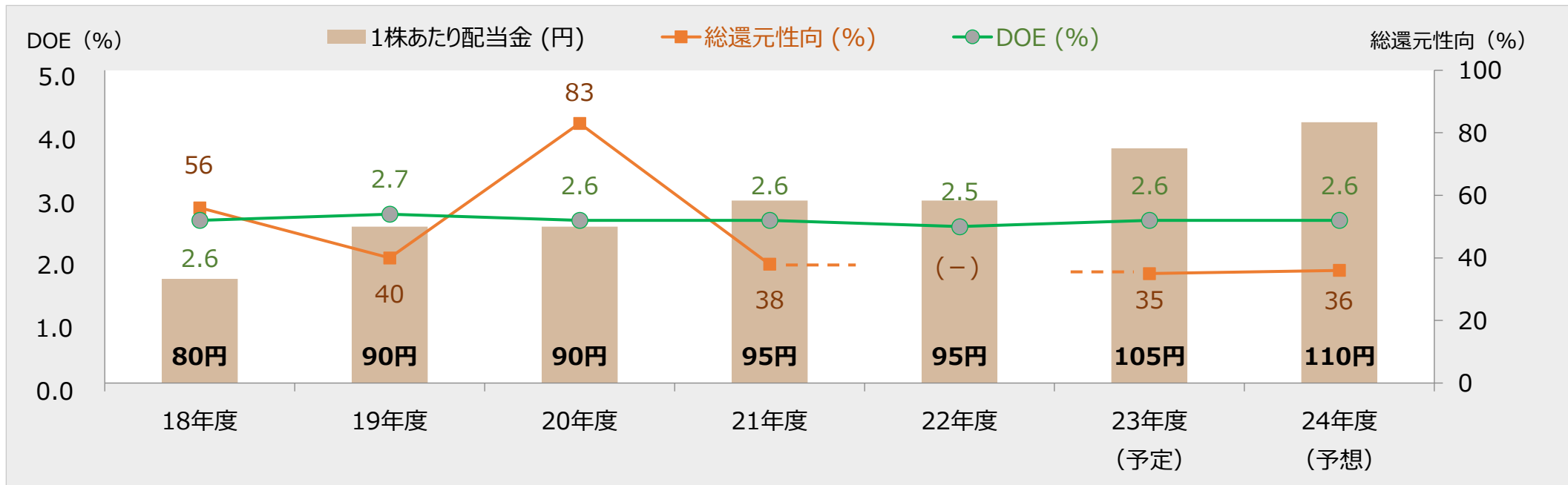
セグメント	件名	場所	完工時期
機能品	ポリイミド原料モノマー(BPDA)工場 増設	宇部	2024年度
	ポリイミドフィルム工場 増設	宇部	2024年度
	分離膜工場 増設	宇部 堺	2025年度
	セラミックス (窒化珪素) 工場 増設	宇部	2025年度
樹脂・化成品	DMC・EMC工場 建設	米国	2026年度

株主還元

- 安定的な配当の継続を基本方針とする。
- 積極的な設備投資で利益・株主資本の増加を図り、将来の株主還元のさらなる充実を目指す。

DOE (株主資本配当率)
連結総還元性向

2.5%以上
30%以上 (3カ年平均)



※ 総還元性向：自己株式の取得（2018年度100億円、2020年度100億円（実施は2021年度））を含む

定常的な損益変動要因

時期	セグメント	要因
第1四半期	樹脂・化成品	アンモニア工場（宇部地区）で隔年（偶数年）に定期修理を実施。 工業薬品事業の営業利益にマイナス影響。
	全社	自家発電設備（宇部地区）で隔年（偶数年）に定期修理を実施。 全社の営業利益にマイナス影響。
第2四半期後半 ～第3四半期	樹脂・化成品	ナイロン原料カプロラクタムの販売数量が衣料品の秋・冬物需要の影響を受け増加。 カプロラクタム事業の営業利益にプラス影響。
第4四半期	樹脂・化成品	合成ゴム工場（千葉地区）で毎年定期修理を実施。 エラストマー事業の営業利益にマイナス影響。
	機械	売上、利益の計上が集中。 成形機、産機事業の営業利益にプラス影響。

2024年度 経営概況説明会 および 2024年度 第1四半期決算発表

- **2024年度 経営概況説明会**
 - **5月21日 10:00 ~ 11:30**
- **2024年度 第1四半期 決算発表**
 - **8月5日 15:00**
- **2024年度 第1四半期 アナリスト・機関投資家向け決算説明会**
 - **8月5日 18:00 ~ 18:45**

尚、この予定は都合により予告なく変更となる可能性があります。

UBE Transform Tomorrow Today

本資料における将来の見通しに関する記載は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまな要因の変化によって見通しと大きく異なる場合もありえますことをご承知願います。そのような要因としては、主要市場の経済状況、製品の需給、原燃料価格、金利、為替相場などがあります。但し、業績に影響を及ぼす要因はこれらに限定されるものではありません。

本資料の著作権は当社に帰属します。本資料のいかなる部分も書面による当社の事前の承諾なく、複製又は転用などを行うことはできません。